

又吉 薫 議員



想はあります。

地域では、村の資産をうまく活用できないか話し合われます。これまでの役場答弁では、地元の恩納区や関係機関と検討協議したいとありました。何時、どの様に協議の場を設けるか。また、恩納区の計画や要望を取り入れるということか。

企画課長 山城雅人

平成30年度をめどに恩納区や関係機関と検討協議したい。恩納区の要望は当然のごとく、区の構想を反映させます。

恩納区総会で、老人クラブより恩納番所の復元とあわせて区の老人を対象とした老人施設、それから児童施設として活用できないか要望がありました。見解を伺います。

企画課長 山城雅人

文化財的価値や観光関連施設としての活用が必要。また、老人を対象とした利用形態等の複合整備計画は有効な計画と考えますが、恩納区を限定とした施設整備は多くの課題がある。番所跡地の整備計画は村が果たす役割、区

福祉健康課長 長浜保治

地域ケア会議を随時開催し、高齢者個人に対する支援の充実、社会基盤の整備に向けて対策等を検討。

高齢者は、可能な限り住み慣

れた地域で最後まで暮らしたいと願っている。地域に密着した包括ケアの仕組みや居場所が必要。番所跡地の利活用も、これを願うこと、当局の見解を伺います。

福祉健康課長 長浜保治

が果たす役割を協議し考える。
村当局に跡地利用の計画がなければ、役場敷地内の恩納区所有の土地と交換して恩納区が使うことは可能か。
総務課長 新里勝弘
番所跡地、字有地は歴史的背景を持つている。土地の交換でなく、現状のままで計画を進めたい。
恩納村の地域包括ケアシステムの構築と地域支援事業の現状と課題
地域包括ケアのあるべき姿は、役場が地域と向き合って地域の事情を把握し、それを政策、事業化することだと思えます。村民や老人世帯が将来について、どのような課題や不安感を持っているか実態調査がされているか。それに対する対策を考えているか。

今後、各字において自主的に高齢者の行き場づくりを行う個人、団体を支援し、地域の高齢者の居場所、高齢者が活躍する場の形成を支援します。

介護制度を如何に利用するかだけでなく、実際に老人の意見を聴ける場も設けたら如何でしょうか。老人、個人個人に対する医療・看護・介護・介護予防には色々な段階があります。介護を必要とする世帯も単身の老人世帯であったり、家族の働く環境によって色々な介護の形態を必要としている。行政の役割は、介護制度でカバーできない部分、個人や地域が必要とする部分に目を向ける時期に来ている。今回の老人クラブの意見・提案は、自ら人生の最終章を考え設計している。議会人として真摯に受け止めたい。

介護制度を如何に利用するかだけでなく、実際に老人の意見を聴ける場も設けたら如何でしょうか。老人、個人個人に対する医療・看護・介護・介護予防には色々な段階があります。介護を必要とする世帯も単身の老人世帯であったり、家族の働く環境によって色々な介護の形態を必要としている。行政の役割は、介護制度でカバーできない部分、個人や地域が必要とする部分に目を向ける時期に来ている。今回の老人クラブの意見・提案は、自ら人生の最終章を考え設計している。議会人として真摯に受け止めたい。

介護制度を如何に利用するかだけでなく、実際に老人の意見を聴ける場も設けたら如何でしょうか。老人、個人個人に対する医療・看護・介護・介護予防には色々な段階があります。介護を必要とする世帯も単身の老人世帯であったり、家族の働く環境によって色々な介護の形態を必要としている。行政の役割は、介護制度でカバーできない部分、個人や地域が必要とする部分に目を向ける時期に来ている。今回の老人クラブの意見・提案は、自ら人生の最終章を考え設計している。議会人として真摯に受け止めたい。

福祉健康課長 長浜保治
地域ケア会議を随時開催し、高齢者個人に対する支援の充実、社会基盤の整備に向けて対策等を検討。

高齢者は、可能な限り住み慣

れた地域で最後まで暮らしたいと願っている。地域に密着した包括ケアの仕組みや居場所が必要。番所跡地の利活用も、これを願うこと、当局の見解を伺います。

福祉健康課長 長浜保治

土地鑑定評価委託料について

平成27年12月定例会に、46万円が計上されておりますが、支出の根拠を伺います。

企画課長 山城雅人

仲泊公民館整備計画に伴う事業費を、事務費として支出した。鑑定結果については、どういったものがありましたか。

企画課長 山城雅人

鑑定評価に基づく計画として、用地取得費と造成工事費を含めた事業費を申し上げますと、約1億6千9百万円の工事費、用地取得費が必要ということの結果が出た。

私は先だって、村民税減免のお話もしました。特にこの問題は、ぜひとも仲泊区においては負担が大きいということ。建設事業の要綱も見直す面は見直ししないと、何億というお金が建設費にかかる。それがネックになって、公民館または交流施設の建設も難しい。仲泊の交流施設、公民館建設に協力してもらって、ぜひとも実現できるようにお願いします。

山城 良一 議員



前兼久漁港周辺整備について

漁港拡張工事により砂浜、海が埋め立てられ自然が失われ、行政として平成13年度以降に人工ビーチの位置付けや安全対策等について「区との調整を図りながら引き続き検討していく」と懇談会の報告書に明記されているが、何時になったら事業が実施されるのか。

農林水産課長 佐渡山安正

安全面、管理上の問題をクリアできるというのであれば、本当に早急な形で事業を進めて参りたい。

前兼久福地川の改修工事について

平成13年度報告書に「河川における安全性の緊急度も考慮しながら、検討していく」と表記されております。この地域は河口付近で年に数回、砂が真っ黒になるくらい堆積して悪臭が漂っている状況で、原因調査もしたが不明でありました。上流の方では飲食店も立ち並び賑わっているところであります。衛生面を考慮すると、早急に対処すべきと思うが。

建設課長 大城 学

砂の堆積があった場合には、浚渫等に対応を考えております。流域等も含めた調査を行い、対策を検討したい。

前兼久漁港施設用地利用について

平成27年9月定例会で、企画課長は「計画は進んでおりません、早急の事業が必要である」と、農林水産課長は「里海づくり協議

村長 長浜善巳

当面は駐車場として確保し、その駐車場の一部に公園もできるのではないかと。地域が活性化できるように、地域と協議しながら進めて参りたい。

村長 長浜善巳

この用地を、どういふうな形で進めていくのか。

この用地を、どういふうな形で進めていくのか。

この用地を、どういふうな形で進めていくのか。

村長 長浜善巳

当面は駐車場として確保し、その駐車場の一部に公園もできるのではないかと。地域が活性化できるように、地域と協議しながら進めて参りたい。